東日本旅客鉄道労働組合 東京地方本部　East Japan Railway Workers Union・TOKYO Regional headquarters　東京地本ＨＰ

JREU TOKYO
業務部速報

2025.04.30 No.073

発行：ＪＲ東労組東京地本 業務部

東地申第06号

「首都圏本部におけるワンマン運転の実施について」に関する基本申し入れ団体交渉を行いました（その 11）

30.車掌用ITV、レピーターは引き続き設置すること。
回答：車掌用 ITV 及びレピータは撤去する計画である。

（組）非連動運転時は列車防護係員が乗車するが、ドア扱いは誰が行うのか？
（会）最前部運転台で運転士が行う。
（組）発車時、相互にドア閉扉確認をする時に ITV が必要ではないか。
（会）運転士側は車載ホームモニタシステムで確認出来る。列車防護係員のドア閉扉の確認は見える範囲で構わない。
運転士に信号開通確認後、出発合図を送る。それ以外は取扱いは変わらない。 確認
（組）ITV を撤去する理由は？
（会）固定資産含め、不要な財産削減が目的。 認識一致せず

31.綾瀬運輸区に勤務する車掌の異動については、本人希望を実現すること。
回答：異動については就業規則に則り取り扱うこととなる。なお、引き続き社員の状況等については、日頃のコミュニケーション等を通じて把握しているところである。

（組）中野北乗務ユニットでは時期変更が多発している。池袋運輸区、丸の内運輸区も含め数多くの職場で要員が足りない中で、綾瀬運輸区の車掌が今後も車掌を希望している場合、駅に異動となると本人は納得しない。その為、希望は 100%実現するように目指すべきではないか。
（会）社員と面談を始め各個人の希望の把握をしてきた。人事異動の為、必ずしも希望通りとはいかない。業務の必要性に応じて異動をさせていく。
（組）現場ではどこの車掌職場でも要員が足りなく、今回のワンマン施策で車掌職場に転勤となり、要員が緩和するのではないかと希望がある。この間、要員、納得感の問題を労使で議論してきた。この問題意識は強く主張する。
（会）主張は受け止める。要員補充で異動させるわけではないと以前も話して、そこは認識を合わせてきた。
（組）要員補充が目的ではないが、今回は利害が一致している。車掌を希望している社員が駅など希望していない職場に異動になったときは、その社員に対して期待していることなどしっかり説明するのか。
（会）今までと変わらずフォローしていく。
（組）管理者も病んでいる。毎日休日出勤の電話をし、休日出勤しても年休が入らない状況下で、それでも突発が出る。最終的に当直の管理者が乗務している。状況はかなり深刻。問題意識をモビサの中、また人事とも共有をお願いしたい。
（会）モビサとして受け止める。人事とも連携していく。
基本的に今回の異動に対する希望は 100%叶えるように、努力をするのが大前提と伝える。
《確認事項》
① 社員個人の異動に対する納得感の形成はしっかり会社として努力していく。
② 今後の状況についてはモビサと人事も連携をして、各現場の要員状況を把握していく。

32.施策実施後は労使で検証を行い、発生した問題点については別途協議するとともに、速やかに解決すること。
回答：具体的な提起があれば「労使間の取扱いに関する協約（令和６年 10 月１日締結）」に則り取り扱うこととなる。

（組）具体的な提起があれば真摯に議論する場をつくることを要請する。
（会）了解した。

当社初、長編成ワンマン施策です。全組合員で検証を行い、働きやすい職場環境を創り出そう！